

『自分を育てる』 ～ 『心の扉』を開き人間力を磨く ～

2025 年 10 月 25 日(土) 早稲田大学エクステンションセンター(中野校)での講座【ジャンル 人間の探求:がんと生きる哲学 医師との対話を通して『がん』と生きる方法を考える。】(10:40～12:10)に赴いた。人生日々学習である。

【目標：がんとともに暮らすことを知り、がん患者と対話し、がん患者に寄りそう方法を 受講者自らがみつけ、笑顔になることをめざします。

講義概要：『がん哲学』とは、生きることの根源的な意味を考えようとする患者と、がんの発生と成長に哲学的な意味を見出そうとする医師との対話から生まれました。日本人の半分以上が がんになる時代、好むと好まざるとにかかわらず、多くの人が がんと一緒に生きる方法を見つけなければなりません。授業では教科書の読みあわせと解説をしつつ、受講者とのディスカッションを中心に講義をすすめます。がんとともに生きている患者さん、がん患者の家族や身近に患者がいる人、医療従事者等のがん患者に寄りそいたいと思う方すべてが対象です。】と謳われている。

テキスト:『新渡戸稲造 壁を破る言葉』(三笠書房 2023 年 10 月 15 日発行)の『新渡戸稲造の言葉』の一部を音読しながら質問を受け進めた。今回の箇所は 3 章『自分に負けない生き方』の『この章のはじめ』には、【『真に偉い人というのは、現在の仕事に全力を尽くす人だ』&『富そのものが人生の目的であってはならない』】(新渡戸稲造:1862-1933)と記述している。

3 章 29 節 『沈思黙考』の時間で自分を育てる(『武士道』の引用)

3 章 30 節 『徳の貯蓄』で人間力を磨く(『修養』の引用)

4 章 31 節 苦しくても『心の扉』は開けておくこと(『人生読本』の引用)

10 月 25 日午後は、埼玉県の上福岡メディカルカフェ 3 周年記念の講演『もしかすると この時のためであるかもしれない』に向かった(添付)。講演の後、筆者は、別室で個人面談の時間が与えられた。会場から複数の質問もあり、大変有意義な充実した時となった。10 月 25 日は、2 連チャンの貴重な 1 日となった。



上福岡メディカルカフェ 3周年記念講演会



参加費
無料

もしかすると
この時のため
あるかもしれない

2025 10月25日 土
14:00~16:00

講師 ひの あきお 樋野興夫氏

順天堂大学名誉教授、新渡戸稲造記念センター長、
一般社団法人がん哲学外来理事長。
著書「いい覚悟で生きる」「頑張りすぎない、悲しみすぎない」他多数。



がん哲学外来は、「病気であっても、病人ではない」その人らしい生き方の探究をモットーに一般社団法人がん哲学外来の活動で、がんの患者さんのみならず、人々が互いに助け合い、励まし合いながら前に進もうとする働きです。

上福岡教会をお借りしてカフェを開催しています。今回、開設3周年記念として、提唱者の樋野興夫先生よりメディカルカフェについて講演をしていただきます。

講演の後、懇談の時間もございます。

お申し込み・会場詳細については裏面をご覧ください

会場 日本キリスト改革派 上福岡教会
埼玉県ふじみ野市鶴ヶ岡1-14-7

主催 上福岡メディカルカフェ
代表 佐藤紀子
☎sato8391@seasideshop.net
☎①090-8496-1927 (佐藤) ②090-9341-8466 (有山)

【定例】上福岡メディカルカフェ

病気を抱えている方だけでなく、
ご家族や、ご友人の方、ご遺族など、
どなたでも参加できます。

参加費 100円
お茶、お菓子のご用意があります。

毎月第2水曜日